

# ainote

学校法人藍野大学 広報誌

アイノテ

# 8

Saluti et Solatio Aegrorum

2021  
August

## CONTENTS

### 次なる成長に向けて

Next Action ~Collaborative Creation~

#### Aino's news 2021

学校法人藍野大学の最新ニュースを紹介します

#### Student Interviews

私と医療

#### Aino's place

大阪茨木キャンパス紹介



# 次なる成長に向けて

Next Action ~ Collaborative Creation (協創) ~



## 進学パスウェイ

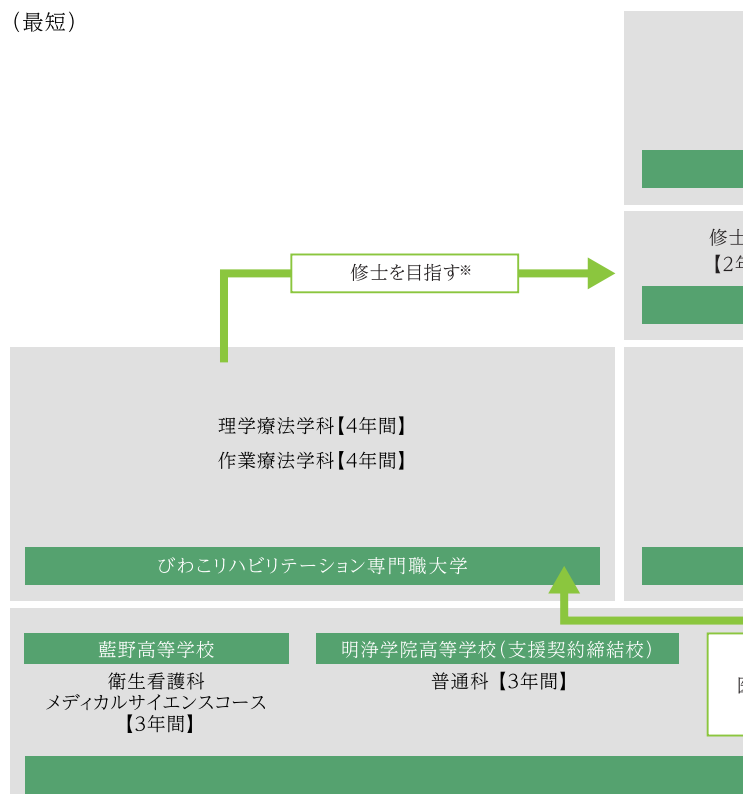
Learning Pathway

学校法人藍野大学には、中学生や高校生、社会人などのさまざまな人々が医療職(看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士等)を目指すさまざまなパスウェイが整っています。



大学院博士課程	27歳	(最短)
	26歳	
	25歳	
修士課程	24歳	大学院
	23歳	
大学学士課程	22歳	大学
	21歳	
	20歳	
	19歳	
中等教育後期課程	18歳	高等学校
	17歳	
	16歳	

(最短)







学校法人藍野大学は、2018年に創基50周年を迎えました。

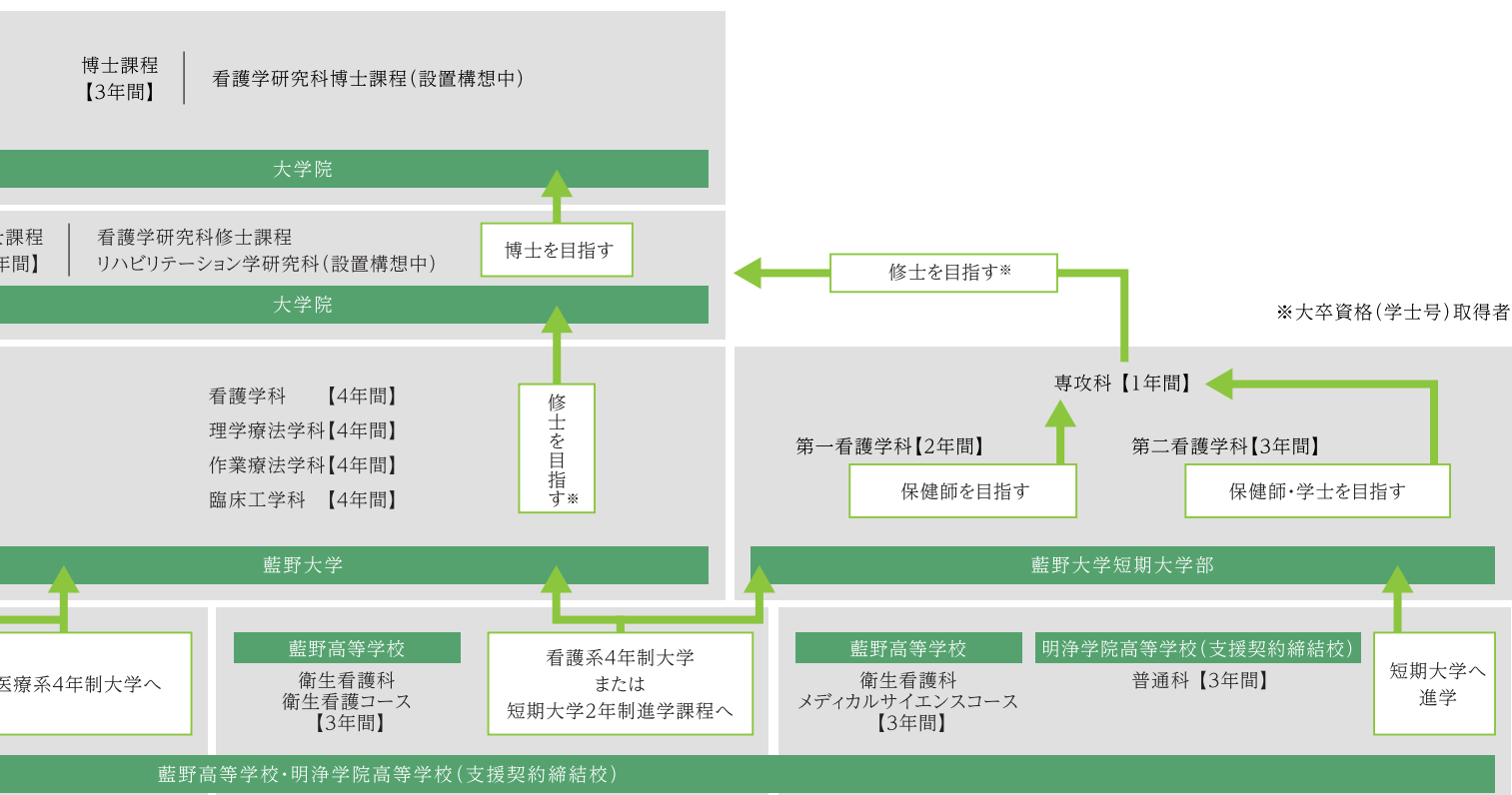
この間、学校法人藍野大学は関連法人の医療法人恒昭会(医療機関)、社会福祉法人藍野福祉会(社会福祉機関)と共に個々のガバナンスを確立した中で、当法人の教育理念である“Saluti et Solatio Aegrorum”(邦訳：病める人々を医やすばかりでなく慰めるために)を基本理念として共有し、理論と実践を架橋させる医療のスペシャリストや多様な研究テーマを創出することで、新たな社会価値を生み出してきました。

学校法人藍野大学は、社会価値の創出力をさらに高めるため、変革の速度を上げて参ります。

次のステージに進むためのアクションワードは、関連法人をはじめ、地域の自治体、他大学、企業組織などと共にソーシャル・イノベーションを創出して成果を分け合う「Collaborative Creation」です。

さまざまな視点から社会的課題に向き合い、医療技術の応用により解決策や新たな価値を“社会と「協創」”することが、当法人に課せられた大きな使命であると考えます。

次なる成長に向けて、関連法人との豊富な産学連携プロジェクトの経験をもとに、「Collaborative Creation」をさらに拡大・推進し、最新の知見に根ざした医療サービス、心の通った安心できる医療という社会の要請に応え、日本の地域医療の質の向上に貢献します。



## 学校法人藍野大学

### 茨木市内初の「新型コロナワクチン職域接種」の実施 及び地域(滋賀県)への教員群派遣

学校法人藍野大学は2021年6月16日、職域での新型コロナワクチン接種を開始する政府の発表方針を受け、ワクチンの職域接種に協力することを決定し、7月13日より職域接種を開始しました。

また、新型コロナワクチン職域接種の実施は茨木市内初(茨木市に本拠を置く大学・企業)の事例となりました。ワクチン接種には、本法人の医師免許・看護師免許を有する教員が従事し、バックアップとして関連の医療法人恒昭会の医師・看護師のほか、臨地・臨床実習を受け入れていただいている病院に協力していただきました。

職域接種の実施は初の試みだったこともあり、医師・看護師による監修のもと実施計画からデモンストレーションの実施など綿密に安全体制を整えたうえで、本番のワクチン接種に臨みました。

さらに、滋賀県及び滋賀県野洲市からの要請を受け、地域のワクチン接種に本法人が設置するびわこリハビリテーション専門職大学の教員群(医師)を派遣し、地域の接種率向上に貢献しました。

本法人は将来の医療従事者を輩出する教育機関として、対面授業や臨地・臨床実習の早期全面再開を目指すとともに、一日でも早い新型コロナウイルス感染症の収束に向け、地域自治体の医療負担の軽減に貢献します。

#### 【概要】

##### 1. 新型コロナワクチン職域接種

- 開始: 第1回目接種・・・2021年7月13日～7月26日  
第2回目接種・・・2021年8月10日～8月20日
- 会場: 学校法人藍野大学 大阪茨木キャンパス アイノピアビル2階
- 対象者: 接種を希望する在学生、教職員、  
その他関連企業 約1,400名※大学生以上
- 従事者: 本法人の医師免許・看護師免許を有する教員及び  
後方支援として関連の医療法人恒昭会の職員等

##### 2. 滋賀県及び滋賀県野洲市のワクチン接種への教員群(医師)派遣

- 滋賀県野洲市: 2021年7月上旬～
- 滋賀県(滋賀県北部): 2021年7月中旬～



## 藍野大学

### 大阪大学大学院 医学系研究科 菅本一臣教授のVR臨地・臨床実習プロジェクトに協力

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、教育課程において重要な臨地・臨床実習が、感染拡大防止のために相次いで中止になり、医療従事者養成施設の学生が苦境に立たされています。文部科学省などは、臨地・臨床実習の学内代替を認めており、国家試験の資格取得や就職に直接支障はありません。しかし、多くの学生たちが未来の医療従事者としてのスキル習得に自信が持てなくなっています。このような状況を考慮し、大阪大学大学院医学系研究科の菅本一臣教授は、新型コロナウイルス感染症で困っている医療従事者養成施設の臨地・臨床実習を救うためのプロジェクトを企画されました。その内容は、VR(バーチャルリアリティ)でゴーグルをつけての疑似的な体験により、病棟、手術室、リハビリ室を体験してもらおうというもので、藍野大学の学生もプロジェクトに協力しました。



大阪大学大学院  
医学系研究科 教授  
学校法人藍野大学 評議員  
菅本一臣



## 藍野大学×梅花女子大学 コラボ企画 「看護学生 卒業直前フォローアップ看護技術演習」を実施

現在、看護系大学では、新型コロナウイルス感染症拡大のため臨地・臨床実習が学内実習に変更され、学生が実習を十分に行えない状況にあります。そこで、藍野大学と梅花女子大学では、卒業後に不安を抱える学生のために、「看護学生卒業直前フォローアップ看護技術演習」を合同で実施しました。筋肉注射や点滴の機械を扱う実習等、全7種類の実習を本学の看護演習室で行いました。



### びわこリハビリテーション専門職大学

## びわこリハビリテーション専門職大学と 東近江市が『連携協力に関する協定』を締結

滋賀県東近江市とびわこリハビリテーション専門職大学は、教育研究活動等を通じ、地域包括ケアシステムの構築をはじめ、まちづくりにおいて積極的に連携を行い相互に協力することにより、それぞれの活動の充実を図るとともに、地域の発展に寄与することを目的として協定を締結。2021年2月18日に協定書締結式が滋賀県東近江市で行われ、小椋正清市長と山川正信学長が協定書に署名しました。



### 藍野大学短期大学部(大阪茨木キャンパス)

## 専攻科(地域看護学専攻)修了生の 古木秀明さんが執筆した書籍が発売

専攻科(地域看護学専攻)修了生の古木秀明さんが執筆した書籍『ホントに意味がある? 論文から読み解く 看護のエビデンス20』が2021年4月に出版されました。テーマは、「普段おこなっているその看護手技、機器・器具使用のエビデンス知っていますか?」。看護の領域において、エビデンスに基づいた書籍というのは決して多くはありません。そこで、古木さんは臨床における普段の看護実践にどのようなエビデンスがあるのかを示すことを目標として執筆され、学びの多い内容になっています。



### 藍野大学短期大学部(大阪富田林キャンパス)

## 3つの施設を改修

2021年4月に3つの施設が改修され、更に使いやすくなりました。

注目は、学生たちの新たな成長の場「コモンズ」学習形態の多様化に伴い、様々な人数、様式の学修に対応できる環境を整えました。



### 藍野高等学校

## 看護高等学校全国大会の 主幹事務局に決定

全国の看護高等学校(95校)が参加する2022年度全国看護高等学校研究協議大会(300名参加)の主幹事務局として大会運営を行うことを決定しました。



※詳細はホームページをご覧ください。

# Student Interviews

## 私と医療



### 01. 知識だけでなく、演習で援助を実体験

藍野大学 看護学科2年 奥出 晃成さん

母が看護師をしており、勤務先の病院で患者さんやご家族からとても親しく話しかけられている姿を見て、憧れの想いを抱いたことが看護師を目指したきっかけです。藍野大学では、多職種と調和的、協働的に医療を実施するためのコミュニケーションを学ぶことができます。現在は看護の基礎を知識として学ぶだけでなく、演習で実際に援助を体験して、将来看護師になるための能力を身に付けようと力を入れています。



### 03. 関節の動きを促進したリハビリに感動!

藍野大学 理学療法学科3年 深野 まひろさん

高校生の時に手術を必要とするケガを経験。当時、担当してくれた理学療法士さんのリハビリを通して、全く動かなかった関節が徐々に動くようになったことに感動して医療に携わろうと決意しました。藍野大学を選んだ理由は、アットホームな雰囲気、楽しい大学生活が送れると思ったからです。今は理学療法分野のより専門的な内容を学び、臨地・臨床現場に出た際に活かせるよう日々努力を重ねています。将来は身体面だけでなく、精神面でもサポートできる理学療法士になりたいです。



### 05. 人命を守る、人にしかできない仕事に

藍野大学 作業療法学科2年 田畑 陽大さん

誰かに必要とされ、AIに奪われない職業を考えた時に医療が思い浮かび、「人命を守る」という人にしかできない仕事がしたいと思いました。今は実習や臨地・臨床現場で重要である、運動学や評価について学習しています。またグループディスカッションにも力を入れ、症例の解決や対策のために、どうすれば良いのかを話し合う難しさや大切さも学んでいます。将来は周りから信頼され、多くの人に作業療法を広めていけるような作業療法士になることが目標です。



### 07. 医療は学ぶほど誰かのためになる!

藍野大学 臨床工学科3年 安井 美結さん

幼い頃から人の命を救う仕事に憧れ、地域の「1日医師体験」などに参加して実際の業務を体験していました。そして、「医療の仕事は勉強するほど誰かのためになる」と気づき、医療関係の仕事に就きたいと思いました。藍野大学は臨地・臨床現場で活躍されている先生の授業が多く、授業を通して将来をイメージすることができ、とても楽しいです。将来は臨床工学技士になって人工心肺装置を操作したいと思っており、「この人に任せれば大丈夫」と思ってもらえる確かな技術を身に付けることが目標です。



揺るがない医療人へ。  
在学生のリアルな声をお届けします。



## 02. 他学科との交流で視野が広がった

■ 藍野大学 看護学科3年 北濱 菜々子さん

藍野大学の魅力は学科を越えて互いに刺激しあえる環境があることです。特に「シン・メディカル」の授業では、全学科の学生とディスカッションすることで、チーム医療についての視野が広がりました。卒業後は地域の中核病院で看護師として働き、その人らしく生活できるよう、患者さんやご家族の意向を尊重した看護を提供していきたいです。地域に根ざした医療に携わる中で学び続け、専門性や人間性を磨き、成長していきたいと思っています。



## 04. 何度もお世話になった先生と同じ道へ

■ 藍野大学 理学療法学科2年 南堀 悠人さん

高校生の時にサッカーでケガをした際に治療してもらった病院で、最もお世話になった理学療法士さんがいつも親切で優しく、適切な治療を行なってくださいました。自分もこんな理学療法士になりたいと思い、藍野大学に入学しました。藍野大学を選んだ理由は、国家試験の合格率高く、施設が充実しているからです。学生全員が国家試験の合格を目指して取り組んでいるまわりの環境にも刺激を受け、今はオンライン学習で難しかった1年生の復習と、パーソナルトレーナーの資格取得のための勉強に注力しています。



## 06. “らしさ”を見いだせる作業療法士に

■ 藍野大学 作業療法学科3年 松岡 真結さん

高校生の時に足の手術をしたのですが、その時親身になって話を聞いてくださり、頑張ろうと思えるきっかけをくれたリハビリの先生のように、人の可能性を信じて活かせる職業に就きたいと思いました。現在は高齢者や、障がいを抱えた方が安全に暮らせるよう、住環境を提案するアドバイザーの資格取得を目指し、勉強に励んでいます。将来は、一人ひとりの「可能性」を見つけ、個性や強みを活かし、その人らしさを見いだせる作業療法士になりたいです。



## 08. 臨床工学技士だった祖父に憧れて

■ 藍野大学 臨床工学科2年 中谷 圭さん

私の両親は医療関係者で、祖父も臨床工学技士として活躍していたことから、同じ道を目指したいと思うようになりました。藍野大学を選んだ理由は、オープンキャンパスに参加した際、先生との距離が近いと感じたからです。今も工学系の授業で難しい部分がありますが、分からないことは気軽に先生に聞くことができ、学力向上につながっています。将来は救急分野の臨床工学技士を目指しており、まずは「第2種ME技術実力検定試験」の合格を目指しています。



## 09. 小学校時代に出会った理学療法士を目標に

■ びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科1年 岡 宏匠さん

私は小学生の時に股関節が弱く、よく病院に通っていました。当時、担当だった理学療法士が、とても丁寧にリハビリをしてくださったおかげで無事治すことができました。それが理学療法士を目指すようになったきっかけです。現在は解剖学の学習に力を入れています。身体の部位や骨、細胞の名称や仕組みについて学ぶことは難しいですが楽しいです。私を治してくれた理学療法士に少しでも近づけるよう、今後も成長したいと思っています。



## 11. 心も身体も元気にできる作業療法士に

■ びわこリハビリテーション専門職大学 作業療法学科1年 市原 百華さん

私は人と関わる職業、笑顔にできる職業に憧れて、大変な中でもやりがいの大きい医療職に就きたいと考えようになりました。今は国家試験の科目である、生理学、解剖学、運動学に力を入れて学んでいます。1年生の頃から基礎をしっかり身につけておけば、これから学ぶことも理解していけると思うので、聞いたことはすぐノートにメモをとるよう心掛けています。将来は患者さんの気持ちを汲み取り、心も身体も元気にできる作業療法士になりたいです。



## 13. 患者さんだけではなくご家族にも寄り添える看護師に

■ 藍野大学短期大学部 第一看護学科2年 大沼 美歩さん

医療に携わる学びをしようと思ったきっかけは、祖母の看取りの際にやさしく寄り添ってくれた看護師との出会いです。幼い私には偉大に見え、その方のように患者さんだけでなく、家族にも寄り添える看護師になりたいと思いました。大学では自主的に「障がい」について学んでいます。障がいのある方達が日常生活でどのような苦痛があり、どのような看護が必要なのか、学習を深めています。



## 15. 「担当で良かった」と言ってもらえる看護師に

■ 藍野大学短期大学部 第二看護学科2年 川嶋 美裕さん

小学校6年生の時、叔母の入院をきっかけに看護師になりたいと思いました。短期大学士の学位を取得することができ、居心地の良さを感じたことがこの藍野短大を選んだ理由です。私が好きな授業は臨床病態学と保健医療概論。現役の医師の先生や、臨地・臨床現場で経験を積まれた先生自身の経験をもとに、授業以外のお話や、実際の現場と授業の違いを教えてくださいるので面白いです。将来は一人ひとりにあった看護を提供し、「あなたが私の担当で良かった」と言ってもらえる存在になりたいです。



## 17. “その人らしい”生活の支援を

■ 藍野大学短期大学部 専攻科(地域看護学専攻)1年 田原 梓佐さん

高校生の頃に祖母が入院した際、やさしく声をかけ、日常生活のサポートをしてくださる看護師の姿を目の当たりにし、病気によって今までの暮らしを送れなくなった人を支えたいと思うようになりました。専攻科では難病について力を入れて学んでいます。支援が行き届かずにその人らしい生活が送れていないことや、意思を思うように伝えられない状況などを十分に理解した上で、保健師として行える支援について学び、夢である行政保健師の仕事に役立てたいと考えています。





## 10. 記憶に残る理学療法士を目指して

■ びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科1年 北村 結愛さん

高校時代、部活動で頻繁にケガをしたことがきっかけで、専門知識を活かして患者さんを支援できる仕事が素敵だと思い、医療を学ぶことを決めました。基礎科目である生理学や解剖学の内容は非常に難しいため、YouTubeなどで分からないことは調べつつ学びを深めています。将来の目標はまだ決まっていませんが、スポーツをしている子どもから高齢者までを対象に、幅広いライフステージの中で活躍でき、患者さんの記憶に残る理学療法士を目指したいです。



## 12. “できること”を増やして“生きる力”に!

■ びわこリハビリテーション専門職大学 作業療法学科1年 七里 雄大さん

知り合いに、脳卒中の後遺症による麻痺で、ひとりでできることが限られてしまい、生きることを拒む方がいました。その人と同じような境遇の人がほかにもいると知り、力になりたいと考えて、医療職に携わりたいと思いました。この大学でより深く専門的な知識を学び、将来的には、障がい者のリハビリを行う仕事に就きたいです。麻痺などで、今までできたことができなくなってしまった方に、力を与えられるような作業療法士になりたいです。



## 14. 人に寄り添うということは、何か

■ 藍野大学短期大学部 第一看護学科2年 米田 梨沙さん

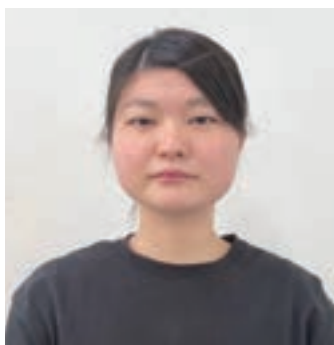
私は病気がちな兄弟の付き添いで病院へ行くことが多くありました。そこで、緊急な状態の中、私達に分かりやすい説明と声かけをしながら、迅速な看護行為を行っていた看護師に憧れ、医療に関わる学びがしたいと考えました。看護実習先で、病を抱えた人に寄り添う大切さを実感し、患者さんの身近にいる医療従事者だからこそ、「人に寄り添うということは何か」と考えるようになりました。将来は、感銘を受け憧れた看護師のように救急看護に携わる看護師になりたいです。



## 16. 心までケアできる看護師を目指して

■ 藍野大学短期大学部 第二看護学科2年 横上 愛さん

看護師になりたいと思ったのは高校生の時です。姉が看護師を目指しており、たくさんの人と関わることで、その人達の助けになれる仕事に就きたいと思いました。1年生の基礎看護学実習では、コミュニケーションと相手の気持ちを考えることの大切さについて学びました。今後は、患者さんや周囲の環境など、全体を見て行動ができるようにがんばりたいです。将来は患者さんに寄り添い、心までケアできる看護師を目指したいです。

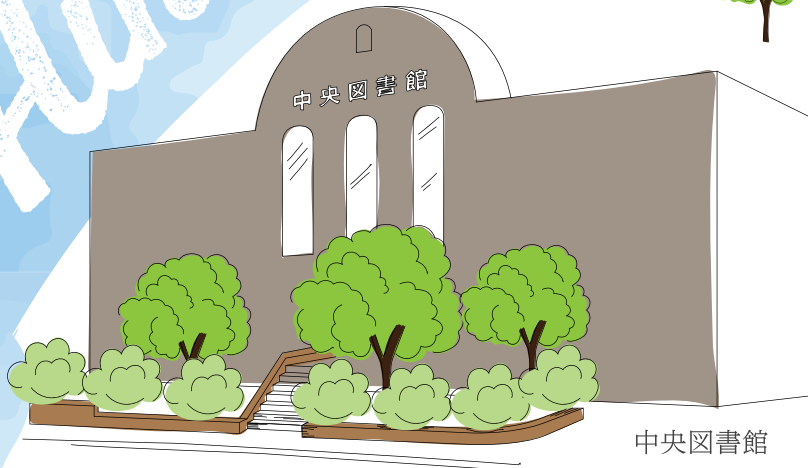


## 18. 患者も家族も支えていける存在に

■ 藍野大学短期大学部 専攻科(地域看護学専攻)1年 中谷 綾子さん

兄が心筋梗塞で倒れ入院した際に、受け持ってくださった看護師が、兄はもちろん、家族にも親身になってケアをしてくれた姿を見て、自分もそんな看護師になりたいと思いました。将来は、地域の方がより健康で安全な生活を送っていけるよう、広い視野を持ち、継続したサポートができる保健師または看護師を目指しています。そのために今は必要なスキルを身に付け、患者さんや家族を支えていけるようになることが目標です。

Pin's place



中央図書館

4

3

みんなの  
持ち物



通学バッグには常に関数電卓を入れておくようにしています。あまり計算が得意ではないので、講義やレポート作成になくてはならないアイテムです。

(藍野大学 臨床工学科 2年 / 中谷さん)



毎日使うバッグは、講義資料と重たい教科書でいっぱいです。お気に入りの参考書は『病気がみえる』シリーズで、カラフルなイラストがたくさん入っているので『系統看護学講座』シリーズと一緒に使うととても分かりやすいです。

(藍野大学 看護学科 3年 / 北濱さん)



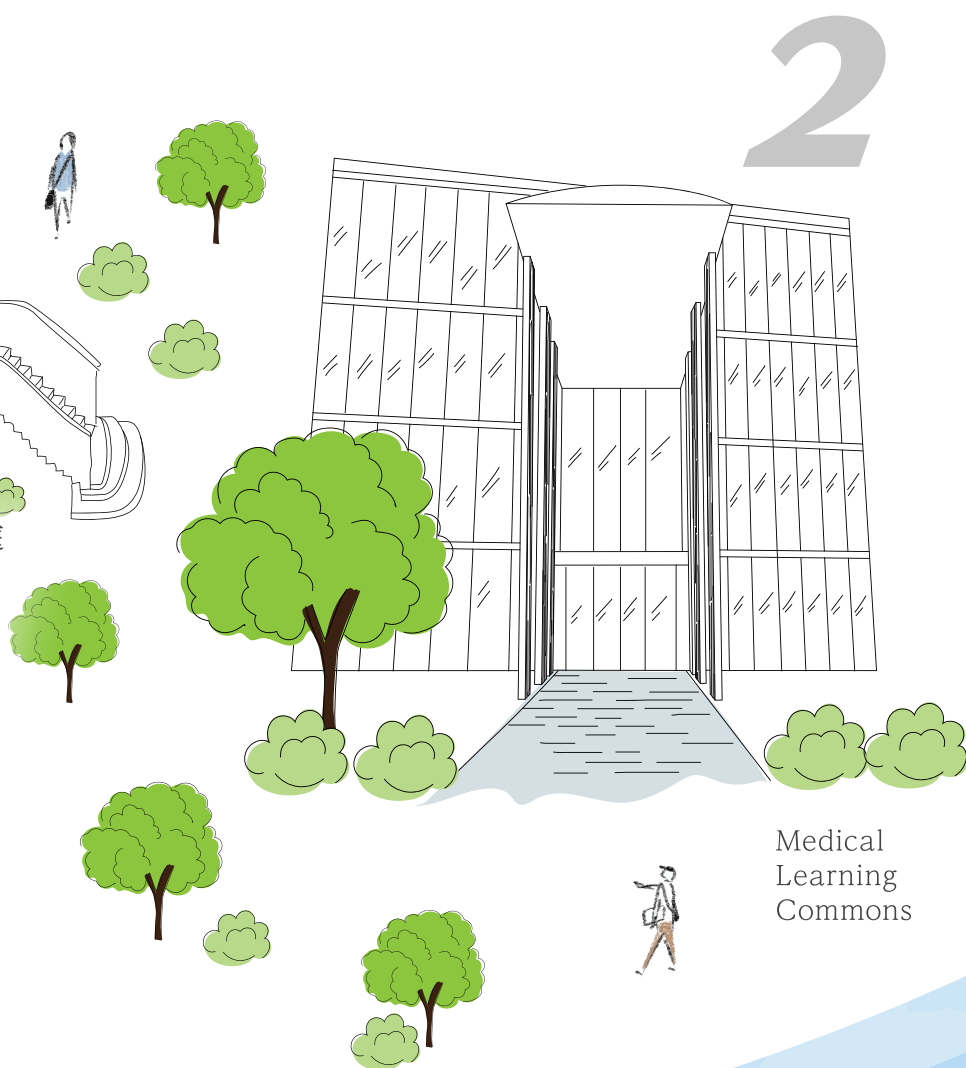
リュックの中には、教科書、ノート、ふでばこ、ノートパソコン、水筒などが入っています。電子工学実習の時はデータの確認があるので、ノートパソコンを必ず持っています。クリップボードは通学の電車で勉強するのに便利です。

(藍野大学 臨床工学科 3年 / 安井さん)





AINOPIA BUILDING



Medical Learning Commons

1

## AINOPIA BUILDING

アインピアビル

学生食堂は、ワンコインでコスパが良く、おいしいところが魅力です。今はコロナ禍で使用が禁止されていますが、広いスペースに沢山の机があり、友達と仲良く食事できるところが気に入ります。

(藍野大学短期大学部 第一看護学科2年/大沼さん)

2

## Medical Learning Commons

メディカル・ラーニング・commons

個別やグループで利用できる学習室は、家で勉強にあまり集中できない私にとって、勉強がはかどる場所です。一人黙々と落ち着いて取り組む日もあれば、友達とグループで話し合いながらいっしょに取り組むこともあります。

(藍野大学短期大学部 第一看護学科2年/米田さん)

新しいので内装がきれいなことはもちろん、F402 教室は広くて講義が見やすいので気に入ります。

(藍野大学 看護学科 2年/奥出さん)

3

## Courtyard

中庭

校舎に囲まれた広い空間に置かれたベンチがお気に入りで。天気の良い日にそこで友達とおしゃべりすることで、リフレッシュできます！

(藍野大学 作業療法学科 3年/松岡さん)

4

## Library

中央図書館

静かな自習室があって、勉強に集中できる場所です。また、なかなか自分では揃えることができないような、医療関係の本や参考書がたくさんあり、空き時間に読んでいると時間を忘れてしまうことがあります。

(藍野大学 臨床工学科 3年/安井さん)

# 2020年度 学校法人藍野大学 決算

## 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定資産	15,611,784	14,068,843	1,542,941
有形固定資産	13,878,763	13,833,416	45,347
特定資産	400,000	200,000	200,000
その他の固定資産	1,333,020	35,426	1,297,593
流動資産	2,742,459	3,564,855	△ 822,395
資産の部合計	18,354,243	17,633,698	720,545
負債の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定負債	3,689,843	2,909,812	780,030
流動負債	3,066,915	3,018,400	48,514
負債の部合計	6,756,758	5,928,212	828,545
純資産の部			
科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
基本金	16,770,087	16,014,947	755,139
繰越収支差額	△ 5,172,602	△ 4,309,462	△ 863,140
純資産の部合計	11,597,485	11,705,485	△ 108,000
負債及び純資産の部合計	18,354,243	17,633,698	720,545

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。  
※「増減」欄は、「2020年度末」欄から「2019年度末」欄の金額を控除した金額となっています。

## 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,972,057	3,004,509	△ 32,452
手数料収入	71,113	64,129	6,983
寄付金収入	4,715	9,088	△ 4,373
補助金収入	468,557	572,091	△ 103,534
資産売却収入	0	6,121	△ 6,121
付随事業・収益事業収入	88,910	68,566	20,343
受取利息・配当金収入	1,700	1,682	17
雑収入	66,822	64,848	1,973
借入金等収入	1,000,000	1,000,000	0
前受金収入	2,577,677	2,484,611	93,065
その他の収入	41,490	29,540	11,949
資金収入調整勘定	△ 2,270,035	△ 2,269,548	△ 487
前年度繰越支払資金	3,507,546	3,507,546	
収入の部合計	8,530,551	8,543,187	△ 12,635
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,279,887	2,141,229	138,657
教育研究経費支出	904,568	823,181	81,386
管理経費支出	456,715	463,976	△ 7,260
借入金等利息支出	13,994	14,010	△ 16
借入金等返済支出	144,996	144,996	0
施設関係支出	265,056	239,670	25,386
設備関係支出	187,603	261,283	△ 73,680
資産運用支出	200,000	200,000	0
その他の支出	1,856,266	1,841,493	14,772
予備費	(29,922) 77		77
資金支出調整勘定	△ 90,202	△ 290,656	200,454
翌年度繰越支払資金	2,311,588	2,704,003	△ 392,414
支出の部合計	8,530,551	8,543,187	△ 12,635

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

## 事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支				
科 目		予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,972,057	3,004,509	△ 32,452
	手数料	71,113	64,129	6,983
	寄付金	4,715	11,491	△ 6,776
	経常費等補助金	468,557	572,091	△ 103,534
	付随事業収入	88,910	68,566	20,343
	雑収入	66,822	66,941	△ 119
	教育活動収入計	3,672,174	3,787,728	△ 115,554
事業活動支出の部	人件費	2,279,887	2,143,429	136,457
	教育研究経費	1,277,759	1,206,174	71,584
	管理経費	490,309	504,044	△ 13,734
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	4,047,956	3,853,648	194,307
教育活動収支差額		△ 375,782	△ 65,919	△ 309,862

教育活動外収支				
	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,700	1,682	17
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	1,700	1,682	17
事業活動支出の部	借入金等利息	13,994	14,010	△ 16
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	13,994	14,010	△ 16
教育活動外収支差額		△ 12,294	△ 12,327	33
経常収支差額		△ 388,076	△ 78,246	△ 309,829

特別収支				
	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	資産売却差額	0	3,465	△ 3,465
	その他の特別収入	0	31,298	△ 31,298
	特別収入計	0	34,763	△ 34,763
事業活動支出の部	資産処分差額	0	64,517	△ 64,517
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	64,517	△ 64,517
特別収支差額		0	△ 29,753	29,753
予備費		(19,523) 10,476		10,476
基本金組入前当年度収支差額		△ 398,553	△ 108,000	△ 290,552
基本金組入額合計		△ 866,136	△ 755,139	△ 110,996
当年度収支差額		△ 1,264,689	△ 863,140	△ 401,548
前年度繰越収支差額		△ 4,309,462	△ 4,309,462	0
翌年度繰越収支差額		△ 5,574,151	△ 5,172,602	△ 401,548

(参考)

事業活動収入計	3,673,874	3,824,175	△ 150,301
事業活動支出計	4,072,427	3,932,176	140,250

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。  
※「差異」欄は、「予算」欄から「決算」欄の金額を控除した金額となっています。



活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,004,509
手数料収入	64,129
特別寄付金収入	8,280
一般寄付金収入	808
経常費等補助金収入	572,091
付随事業収入	68,566
雑収入	64,848
教育活動資金収入計	3,783,233
人件費支出	2,141,229
教育研究経費支出	823,181
管理経費支出	463,976
教育活動資金支出計	3,428,387
差引	354,845
調整勘定等	△ 104,285
教育活動資金収支差額	250,560

施設整備等活動による資金収支	
科 目	金 額
施設設備寄付金収入	0
施設設備補助金収入	0
施設設備売却収入	6,121
施設整備等活動資金収入計	6,121
施設関係支出	239,670
設備関係支出	261,283
第2号基本金引当特定資産繰入支出	200,000
施設整備等活動資金支出計	700,954
差引	△ 694,833
調整勘定等	106,801
施設整備等活動資金収支差額	△ 588,031
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 337,471

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2020年度 寄付金募集状況

対 象	種 類	件 数	金 額
4月～3月	一般寄付金収入	17件	808

補助金の状況

2020年度における補助金交付額は572,091千円となりました。  
内訳は以下のとおりです。

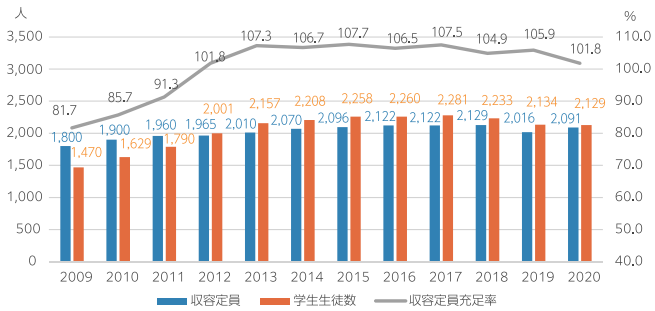
補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	236,271
授業料等減免費交付金	大学・専門職大学・短期大学部・専門学校	106,068
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	177,981
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	48,445
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校他	3,324
合 計		572,091

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

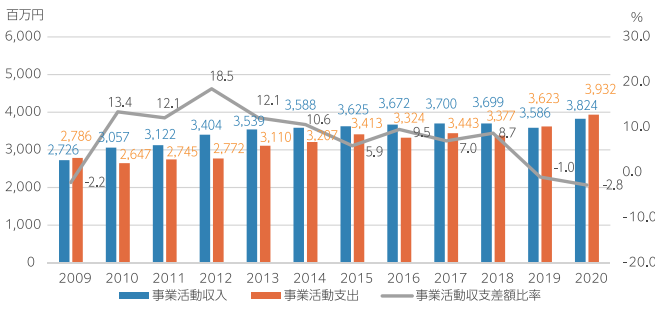
(単位:千円)

その他の活動による資金収支	
科 目	金 額
借入金等収入	1,000,000
貸付金回収収入	1,610
仮払金回収収入	115
仮受金受入収入	760
保証金回収収入	80
小計	1,002,565
受取利息・配当金収入	1,682
その他の活動資金収入計	1,004,247
借入金等返済支出	144,996
貸付金支払支出	1,300,000
預り金支払支出	11,017
仮払金支払支出	62
仮受金支払支出	300
小計	1,456,375
借入金等利息支出	14,010
その他の活動資金支出計	1,470,385
差引	△ 466,138
調整勘定等	66
その他の活動資金収支差額	△ 466,071
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 803,543
前年度繰越支払資金	3,507,546
翌年度繰越支払資金	2,704,003

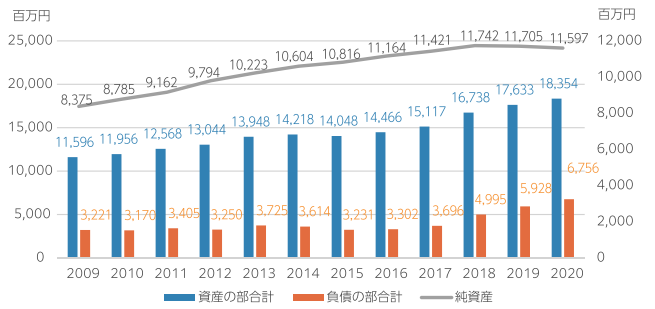
学生生徒数及び収容定員充足率の推移



事業活動収支差額比率の推移



純資産額の推移



# 寄付金募集のご案内

## 寄付金募集要項

特定公益増進法人指定寄付金

### 募集目的

- ・藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学の教育研究活動および教育研究環境(施設設備)の充実
- ・藍野高等学校の教育活動および教育環境(施設設備)の充実

### 募集目標額

1億円

### 募集期間

2019年4月1日～2023年3月31日

### お問い合わせ先

学校法人藍野大学 法人事務局 総務センター経理グループ  
TEL:072-621-3764

※学校法人藍野大学が募集する寄付金の応募は任意です。また、入学前の募集は行っておりません。

### 募集方法

#### 1. 申込金額

【個人】1口3,000円

【法人】1口当たりの金額は定めておりません。

※個人、法人とも口数・金額にかかわらずお受けいたします。

#### 2. 募集対象

在学(校)生、卒業生、保護者、教職員、企業等の法人・団体および当法人の教育にご賛同いただける方。

#### 3. 申込・送金方法

■払込取扱票(郵便振替用紙)を利用したご寄付  
別紙の払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便局(ゆうちょ銀行)の「窓口」からお振り込みください。

※別紙の払込取扱票を使用した場合、払込手数料は本学が負担いたします。

■企業等の法人・団体からご寄付

法人事務局総務センター経理グループにご連絡をお願いいたします。

※寄付金の免除措置に関しては、下記「税法上の優遇措置について」をご覧ください。

## 税法上の優遇措置について ー寄付することで、税金が控除される制度がありますー

平成23年度の税制改正により既存の所得控除制度に加え、寄付者の選択により新たに税額控除制度の適用を受けられるようになりました。

この税額控除制度は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除制度と比較して、多くの方において減税効果が大きくなります。

### (1) 個人の場合

#### ① 所得税の寄付金控除

文部科学省から所得税の「税額控除対象法人」及び「特定公益増進法人」の認可を受けておりますので、寄付者様に「所得控除制度」または「税額控除制度」のいずれかのメリットの大きい方をご選択いただくことが可能です。

#### ◎ 税額控除制度

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)×40%＝寄付金控除額

※寄付金控除額が所得税額から直接控除されます。

※当該年中は1月1日から12月31日の間となります。

※寄付金の合計額が総所得金額等40%を超える場合には、40%に相当する額が限度額となります。

※控除額は所得税額の25%が限度となります。

〈例〉10,000円の寄付をした場合

$(10,000 - 2,000) \times 40\% = 3,200円 \rightarrow 3,200円$ が所得税から控除されます。

#### ◎ 所得控除制度

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)＝寄付金控除額

(課税所得－寄付金控除額)×税率＝所得税額

※寄付金の合計額が総所得等40%を超える場合には40%に相等する額が限度額となります。

#### ② 個人住民税の寄付金税額控除

当法人へ寄付をしていただいた方で、※①大阪府内にお住まいの方、※②茨木市と富田林市にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除を受けることができます。

(住民税控除率)

都道府県が指定した寄付金…4% (大阪府で大阪市・堺市以外にお住まいの方)、2% (大阪府で大阪市・堺市にお住まいの方)

都道府県と市区町村の双方が指定した寄付金…10% (茨木市、富田林市)

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)×住民税控除率＝寄付金控除額

※寄付金の額が総所得金額等30%を超える場合には、30%に相当する額が限度額となります。

当法人では、学術研究や教育等の充実・発展のために寄付をお願いしています。

教育・研究を通じ、これからも社会に貢献していきます。

本学の各種活動にご支援いただきますようお願い申し上げます。

※個人住民税の寄付金税額控除は、所得税の確定申告をすることにより適用を受けることができます。

※所得税の確定申告をされずに、個人住民税の寄付金税額控除のみを受けようとする場合には、寄付した翌年の1月1日にお住まいの市区町村へ申告することにより、適用を受けることができます。

※税制優遇の対象とならない条件もありますので、ご不明の場合は、市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。

※今後、条例改定等があった場合は、お住まいの市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。

#### ③ 確定申告について

所得税の寄付金控除と個人住民税の寄付金税額控除の両方の適用を受ける場合は、ご寄付をいただいた翌年の確定申告期間に当法人発行の「領収書」と「特定公益増進法人証明書」(写)あるいは「税額控除に係る証明書」(写)を添えて所轄税務署に対して所得税の確定申告をする必要があります。

※領収書と寄付金控除に必要な証明書の写し等は、ご希望の方にお送りしております。御入用の方は上記お問い合わせ先までご連絡ください。

### (2) 法人の場合

寄付金に対する損金算入手続きには、特定公益増進法人に対する寄付金と受配者指定寄付金による方法があり、どちらかを選択していただく必要があります。詳細については上記お問い合わせ先までお尋ねください。

#### 【お願い】

事業団が寄付金を受理した日が損金算入日となります。お手元に事業団からの「寄付金受領書」が届くまでは更に2ヵ月程かかりますので、当該決算期に損金処理される予定の場合には、遅くとも決算日の2ヵ月前までにはお振込みいただきますようお願いいたします。

### (3) その他

当法人への寄付金について、地方公共団体から条例等により寄付者名簿の提出を求められる場合があります。その際は、寄付者の氏名・住所・寄付金額・寄付金受領日を記載した寄付者名簿を提出いたしますのでその旨ご了承ください。



# 学校法人藍野大学の概要

設立:1979年9月

## 大阪茨木キャンパス

### 藍野大学

大学院  
看護学研究科  
医療保健学部  
看護学科／理学療法学科  
作業療法学科／臨床工学科

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753

### 藍野大学短期大学部

第一看護学科／専攻科(地域看護学専攻)

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25  
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

### 藍野高等学校

衛生看護科  
衛生看護コース／メディカルサイエンスコース

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-11  
TEL:072-627-1796/FAX:072-627-1797

### 藍野大学中央研究施設

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753

### 藍野大学中央図書館

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25  
TEL:072-625-6369/FAX:072-627-3355

### 藍野大学キャリア開発・研究センター

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4  
Medical Learning Commons 1F  
TEL:072-627-7878/FAX:072-627-7997

### 藍野大学短期大学部 メディカル・ヘルスイノベーション研究所

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 アイノピアビル2F  
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

### あいの発達支援 リハビリ訪問看護ステーション

TEL:072-627-7896/FAX:072-626-2414

## 大阪富田林キャンパス

### 藍野大学短期大学部

第二看護学科

〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1  
TEL:072-366-1106/FAX:072-366-1107

## びわこ東近江キャンパス

### びわこリハビリテーション専門職大学

リハビリテーション学部  
理学療法学科／作業療法学科

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967  
TEL:0749-46-2311/FAX:0749-46-2313

## 大阪阿倍野キャンパス

### 明浄学院高等学校(支援契約締結校)

普通科(2022年4月改組)  
進学アドバンスコース  
看護メディカルコース  
総合キャリアコース

〒545-0004 大阪府大阪市阿倍野区文の里3-15-7  
TEL:06-6623-0016/FAX:06-6627-1165

更に詳しい情報を知りたい方は  
こちらでCHECK!!



公式ホームページ  
<http://www.aino.ac.jp/>



公式YouTube  
<https://www.youtube.com/channel/UCpsnTRw69k6y-9YC7QYj7A>



デジタルパンフレット  
<https://my.ebook5.net/education-aino/>



## 編集後記

ainote(アイノテ) 2021年8月号をお読みいただきありがとうございます。

本誌のメインテーマは「コロナ禍における学校法人藍野大学の新たな取り組みと学校生活について」。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、当法人は将来の医療従事者を輩出する教育機関として、在学(校)生及び教職員等の希望者を対象に職域接種を実施するなど、一日でも早い対面授業および臨地・臨床実習の全面再開を目指すとともに、地域自治体の医療負担の軽減と安心・安全な学校づくりに向けてさまざまな取り組みを行っています。

本誌では、コロナ禍における実習の制限や分散登校、オンライン授業等、慣れない環境の中で日々勉強に励み、夢に向かって頑張る在学(校)生のリアルな声をお届けしました。末筆ではございますが、今回取材・撮影にご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

